様式１－１

文化遺産総合活用推進事業　実施計画

1 都道府県・市区町村名	栃木県野木町	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	「野木町煉瓦窯」を活かした地域活性化プロジェクト計画		
4 実施計画期間	平成　28　年度　～　平成　33　年度		

5 実施計画の概要

野木町では、「水と緑と歴史のまちづくり基本構想」及び「重要文化財　旧下野煉化製造会社煉瓦窯　保存活用計画」に基づき、野木町の貴重な文化遺産を保護するとともに、野木町煉瓦窯と周辺の歴史文化資産を結ぶ公開活用・各種イベント・煉瓦窯の文化的価値の普及啓発などを行うことにより、次世代への継承・発展や地域の活性化を図る計画としている。

この地域は歴史的にも古くから栄えた地であり、古代の集落を証明する多くの縄文・弥生式土器、貝塚の出土からも証明されている。中世は鎌倉幕府開府につながる「野木宮合戦」の舞台となり、同地にある「野木神社」はその時以来の歴史を刻み、町名の由来ともなっている由緒ある神社で多くの文化財も有している。江戸時代には「野渡河岸」と称する利根川水系の要所があり、江戸との交通拠点でもあった。

明治期に入るといち早く近代化産業の拠点となり、地元有志による殖産興業「新井製糸所」、さらに明治２１年には「下野煉化製造会社」が設立され、翌２３年には、現存の「ホフマン式輪窯」が完成した。そして昭和４７年に実動停止となり、昭和５４年には「国指定重要文化財」、平成１９年には野木町の所有となり、経済産業省より「近代化産業遺産」に認定された。また、その設立者の一人であり製糸会社を営んでいた新井家には、赤煉瓦蔵などが残っており、国の有形登録文化財に認定されている。

「野木町煉瓦窯」は、ドイツ人技師フリードリヒ・ホフマンにより設計された輪窯といわれる様式で、野木町の輪窯は、焼成→冷却→窯出しを繰り返し連続して焼ける円形の窯で、現在日本に残っているホフマン式煉瓦窯４基（深谷市、舞鶴市、近江八幡市、野木町）の中でも、ほぼ完全な形で残っており、円形の美しい形式のものは日本で唯一である。また、世界でも現存するものは殆ど無く、ホフマンの生地であるドイツ国内でも２～３基しか残っていないという貴重な遺産である。深谷市の「日本煉瓦製造株式会社」とともに、東京駅舎をはじめ日本の近代化建築の花形となった赤煉瓦建造物を支える大きな原動力となった。関東大震災や東日本大震災にも倒壊を免れ、建築構造力学上もたいへん優れており、建築学界でも関心が高まっている。

平成１９年からは、野木町の所有「野木町煉瓦窯」となり、文化庁や栃木県の補助も受け、平成２３～２６年の４年間をかけて修理が完成した。そして、現在煉瓦窯の資料館も兼ねた「野木ホフマン館（野木町交流センター）」を平成２８年５月に開館し、「野木町煉瓦窯」も一般公開を行っている。

そこで、平成２８年の「野木ホフマン館」開設を機に、近代化文化遺産「野木町煉瓦窯」の情報発信・人材育成・普及啓発事業・記録作成に積極的に取り組み、「野木町煉瓦窯」の魅力を全国に発信し、未来に向けた野木町の基軸として新たな観光交流拠点づくりを推進していくプロジェクトを立ち上げた。２０２０年の東京オリンピックを見据えたこの取り組みで、地域住民が主体となり、持続的な観光振興と地域活性化の運動の確立するプロジェクトであり、下記の取り組みを実施する。

1　情報発信事業（平成２８年度～平成３３年度）
2　人材育成事業（平成２８年度～平成３３年度）
3　普及促進事業（平成２８年度～平成３３年度）
4　調査研究事業（平成２８年度～平成３３年度）
5　記録作成事業（平成２８年度～平成３３年度）

6 実施体制

野木町が、本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等を行う。主な担当課、役割は下記のとおり。

教育委員会事務局生涯学習課：各補助事業における文化財の取扱等に関する指導・調整等
産業建設部産業課：観光業務に係る連携等

また、補助事業は次の団体が実施する。

「野木町煉瓦窯」を活かした地域活性化プロジェクト実行委員会（実行委員長：真瀬宏子）
構成団体（野木町、野木町教育委員会、野木町観光協会、野木町公民館野木学区分館、野木町生涯学習ボランティア連絡会、野木町煉瓦窯を愛する会、野木町国際交流協会、新井家ふるさと記念館）

7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	（1）補助金額	～平成28年度交付決定額：　5,508 千円	平成29年度申請額：　5,178 千円
（2）実施事業の概要		別紙②のとおり	

9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）

町民に野木町煉瓦窯の希少性や重要性を再認識してもらうことにより、地域の文化遺産に対する関心や意識が向上し、地域全体で文化遺産を保存・継承し、活用していくための活動への参加や地域の活性化が期待できる。また、行政と民間の協働体制が構築されるとともに、野木町煉瓦窯を核とした地域の文化遺産などへの来場者５０，０００人（年間）を目指す。

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）	
事業概要：	
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等	
本事業の実施により地域住民と一体となって地域の文化遺産を保存・活用を図る機運を醸成ができてから計画策定の検討を行う。	
12 担当部局	
地方公共団体 担当部局課	野木町教育委員会事務局生涯学習課（生涯学習係）

7 実施計画における目標と期待される効果　別紙

目標区分１：	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分１：	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数　（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標１：	野木ホフマン館（野木町交流センター）来場者数	関連事業:	②③④⑧⑨			
目標値１：	平成 28 年度 25,000 人 ⇒ 平成 33 年度 50,000 人					
設定根拠１：	平成28年度目標値を毎年度20%増を見込み、来場者の倍増を設定					
進捗状況１：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分２：	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分２：	地域の文化遺産への来場者数　（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標２：	野木町煉瓦窯見学者数	関連事業:	①⑤⑥⑦			
目標値２：	平成 28 年度 10,000 人 ⇒ 平成 33 年度 20,000 人					
設定根拠２：	平成28年度目標値を毎年度20%増を見込み、来場者の倍増を設定					
進捗状況２：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	

様式１－１別紙②

8（2）実施事業の概要　別紙

事業①：	外国語版パンフレット等制作事業	実施団体：	「野木町煉瓦窯」を活かした地域活性化プロジェクト実行委員会
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成　29　年度　～　平成　33　年度
事業概要：	外国人観光客への情報発信を強化するため、既存の野木町煉瓦窯解説リーフレットの英語版を制作する。		
評価指標区分：	・その他		（具体的な指標は次のとおり）
具体的な指標：	野木ホフマン館（野木町交流センター）来場者数		
目標値：	平成　28　年度　25,000　人　⇒　平成　33　年度　50,000　人		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率		

平成　29　年度	平成　30　年度	平成　31　年度	平成　32　年度	平成　33　年度	平成　34　年度
人	人	人	人	人	人

事業②：	回遊チラシ制作等事業	実施団体：	「野木町煉瓦窯」を活かした地域活性化プロジェクト実行委員会
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成　29　年度　～　平成　33　年度
事業概要：	野木町煉瓦窯を核とした地域の文化遺産への理解度を深め、関連施設を含めた包括的な情報発信を進めるため、各施設への取材・撮影等を実施し、掲載可能な関連施設等の情報の拡充と更新を図る。 地域の文化遺産及び関連施設を包括的に紹介したチラシを作成し回遊を図るとともに、チラシ上のＱＲコードから詳細な情報を取得できるようにし、観覧者の更なる理解の深化を目指す。		
評価指標区分：	・その他		（具体的な指標は次のとおり）
具体的な指標：	野木ホフマン館（野木町交流センター）来場者数		
目標値：	平成　28　年度　25,000　人　⇒　平成　33　年度　50,000　人		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率		

平成　29　年度	平成　30　年度	平成　31　年度	平成　32　年度	平成　33　年度	平成　34　年度
人	人	人	人	人	人

事業③：	案内板制作事業	実施団体：	「野木町煉瓦窯」を活かした地域活性化プロジェクト実行委員会
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成　29　年度　～　平成　33　年度
事業概要：	野木町煉瓦窯及び地域の文化遺産の存在や各施設へのアクセスをより明確化するため、主要な場所に案内板を設置する。		
評価指標区分：	・その他		（具体的な指標は次のとおり）
具体的な指標：	野木ホフマン館（野木町交流センター）来場者数		
目標値：	平成　28　年度　25,000　人　⇒　平成　33　年度　50,000　人		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率		

平成　29　年度	平成　30　年度	平成　31　年度	平成　32　年度	平成　33　年度	平成　34　年度
人	人	人	人	人	人

事業④：	オリジナルマンガ制作事業	実施団体：	「野木町煉瓦窯」を活かした地域活性化プロジェクト実行委員会
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度
事業概要：	地域連携・産学官連携を図るため、マンガ専攻を持つ文星芸術大学とコラボレーションし、田中誠一教授のもと、学生やOBの協力も得てオリジナルマンガの制作を行う。野木町煉瓦窯と核とした地域の文化遺産について、幅広い世代にわかりやすく発信することを目指す。		
評価指標区分：	・その他		（具体的な指標は次のとおり）
具体的な指標：	野木ホフマン館（野木町交流センター）来場者数		
目標値：	平成 28 年度 25,000 人 ⇒ 平成 33 年度 50,000 人		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率		

平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
人	人	人	人	人	人

事業⑤：	野木町煉瓦窯ガイド養成講座事業（英語版、日本語版）	実施団体：	「野木町煉瓦窯」を活かした地域活性化プロジェクト実行委員会
事業区分：	人材育成	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度
事業概要：	野木町煉瓦窯ボランティアガイド育成のため、日本語版養成講座及び英語版養成講座事業を開催し、ボランティアガイドの育成・増加を図る。		
評価指標区分：	・ボランティアガイド利用者数		（具体的な指標は次のとおり）
具体的な指標：	野木町煉瓦窯見学の際のボランティアガイド利用者数		
目標値：	平成 28 年度 3,000 人 ⇒ 平成 33 年度 6,000 人		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率		

平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
人	人	人	人	人	人

事業⑥：	野木町煉瓦窯シンポジウム実施事業	実施団体：	「野木町煉瓦窯」を活かした地域活性化プロジェクト実行委員会
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度
事業概要：	野木町煉瓦窯でシンポジウムを実施し、基調講演及びパネルディスカッションを通じて、町民及び近郊からの来場者に野木町煉瓦窯を核とした文化遺産について理解を深めてもらう。同時に伝統文化のステージ披露や、地域の文化遺産の特別公開などを実施し、野木町の文化遺産に親しんでもらう。		
評価指標区分：	・その他		（具体的な指標は次のとおり）
具体的な指標：	野木ホフマン館（野木町交流センター）来場者数		
目標値：	平成 28 年度 25,000 人 ⇒ 平成 33 年度 50,000 人		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率		

平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
人	人	人	人	人	人

事業⑦：	文化遺産に親しむワークショップ実施事業	実施団体：	「野木町煉瓦窯」を活かした地域活性化プロジェクト実行委員会
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成　29　年度 ～ 平成　33　年度
事業概要：	より多くの親子・子どもたちに地域の文化遺産に親しんでもらうこと、文化遺産に気軽に足を運んでもらうことを目的に、夏休み時期やイベント開催時にワークショップ・伝統文化体験プログラムを実施する。		
評価指標区分：	・その他		（具体的な指標は次のとおり）
具体的な指標：	野木ホフマン館（野木町交流センター）来場者数		
目標値：	平成　28　年度　25,000　人　⇒　平成　33　年度　50,000　人		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率		

平成　29　年度	平成　30　年度	平成　31　年度	平成　32　年度	平成　33　年度	平成　34　年度
人	人	人	人	人	人

事業⑧：	文化遺産へのアクセス向上事業	実施団体：	「野木町煉瓦窯」を活かした地域活性化プロジェクト実行委員会
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成　29　年度 ～ 平成　33　年度
事業概要：	野木町煉瓦窯へのアクセシビリティの向上をめざし、駅からのシャトルバスを運行する。自家用車を持たない人の来場が制限される現状を改善し、野木町煉瓦窯を誰でも訪れることのできる地域の文化遺産とする。		
評価指標区分：	・その他		（具体的な指標は次のとおり）
具体的な指標：	野木ホフマン館（野木町交流センター）来場者数		
目標値：	平成　28　年度　25,000　人　⇒　平成　33　年度　50,000　人		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率		

平成　29　年度	平成　30　年度	平成　31　年度	平成　32　年度	平成　33　年度	平成　34　年度
人	人	人	人	人	人

事業⑨：	野木の伝統文化記録作成事業	実施団体：	「野木町煉瓦窯」を活かした地域活性化プロジェクト実行委員会
事業区分：	記録作成	事業期間：	平成　29　年度 ～ 平成　33　年度
事業概要：	野木神社の太々神楽やちょうちんもみの記録映像を作成し、伝統文化後継に用いる。併せてショートバージョンを作成し、ホームページや動画共有サイト等で公開することで、普及啓発や後継者の発掘にも活用する。		
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数		（具体的な指標は次のとおり）
具体的な指標：	野木神社太々神楽・ちょうちんもみ参加者数及び観客数		
目標値：	平成　28　年度　700　人　⇒　平成　33　年度　1,400　人		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率		

平成　29　年度	平成　30　年度	平成　31　年度	平成　32　年度	平成　33　年度	平成　34　年度
人	人	人	人	人	人